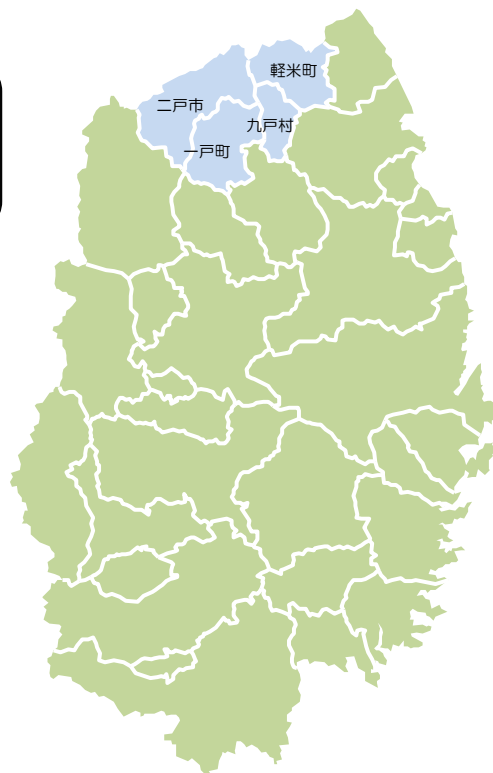


県土整備部の職場紹介 No.14

県北広域振興局土木部二戸土木センター



地域概要

二戸土木センターの所管区域は、**二戸市、一戸町、軽米町および九戸村の4市町村**で、北東北（青森・秋田・岩手）3県の中央部に位置しています。

管内の主な道路は、**八戸自動車道、国道4号、国道340号及び国道395号**のほか、主要地方道11路線、一般県道14路線であり、また、河川は、**一級河川馬淵川水系および二級河川新井田川水系**の17河川があります。

当管内においては、平成元年に東北縦貫自動車道が全線開通、さらには平成14年に東北新幹線二戸駅が開業したことにより、本地域の担う役割は大きなものとなり、**北東北3県の結節点**として重要な地域の一つとなっています。

組織体制

○平成28年度組織キャッチコピー

成し遂げよう、震災復興！つなげよう、魅力あふれる県北圏域の未来へ！

○組織の特徴

当センターの組織は、所長以下5課および1スタッフで構成され、職員数は、正職員27名と臨時職員等19名の総数46名の体制です。

今年度の主な取組

1. 一般国道395号赤石峠工区

一般国道395号は、内陸の二戸と沿岸の久慈を結ぶ県内最北端の横断道路です。復興支援道路として、赤石峠工区では幅員狭小、急カーブや急勾配となっている交通の難所を解消する改良工事を進めており、平成29年春の完成を目指して事業を進めています。

2. 一般国道340号駒板工区

一般国道340号は、岩手県内陸部の北上山地を南北に縦断する幹線道路であり、九戸村の駒板工区を含む区間は、地域の主要産業である養鶏業を支える物流路線であるとともに、生活道路としての役割を担っています。駒板工区では、幅員狭小、急カーブとなっている交通の難所を解消する改良工事を進めており、平成28年度末の完成を目指して事業を進めています。



3. 一般県道二戸一戸線荒瀬橋橋梁補修工事

一般県道二戸一戸線、現在の荒瀬橋は一級河川馬淵川に架かるコンクリートアーチ橋として昭和11年5月に竣工しました。歴史的にも貴重な構造物であり、周辺環境との調和、景観的にも優れていることから、「おいしいちゃん橋プロジェクト※1」の中の橋梁の一つです。

平成25年度に下部工の補修工事に着手し、平成28年10月に上部工の補修工事が完了しました。

※1 完成から60年(人でいう還暦)を過ぎ、歴史的価値が高く、景観に優れた橋の再生・修繕を進め、橋の存在や価値を県民の皆様にご存知いただく取組



石切所小学校の3年生を迎えて現場見学会を開催 (H28.9.7)

施工前

施工後

橋名	あらせげし 荒瀬橋
位置	二戸市石切所
橋長	71.8m
有効幅員	6.0m
径間数	3
形式	RC 開腹上路アーチ橋

独自の取組等

1. 道の日～奥州街道(蓑ヶ坂(みのがさか))を巡る～

国民に道路の意義・重要性について関心をもってもらうため、国土交通省は昭和61年に、8月10日を「道の日」と制定しました。以来、各地で様々なイベントが開催されています。

毎年、県北広域振興局土木部(本局、二戸土木センター)では、奥州街道の歴史の道を巡るバス&ウォーキングツアーを開催しています。平成28年度は、奥州街道の難所の一つであった、蓑ヶ坂を巡るツアーを開催しました。



蓑ヶ坂ウォーキングの様子

2. 木造住宅の耐震対策普及講座(出前講座)

県では、「安全」で「安心」できる建築物ストックの形成を図るため、既存建築物の耐震対策や防災対策等を推進しています。

これらの施策の一環として、小学校における木造住宅の耐震対策普及講座(出前講座)を開催し、次代を担う児童の防災意識づくりに取り組んでいます。